

「うちどく」通信～2022.6～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕

提出数/人数(欠席)

1年 16(1)/17 ☆GOOD☆ 2年 13/13 ☆GOOD☆ 3年 18/18 ☆GOOD☆  
4年 24/25 5年 16/17 6年 22/23 全校 109(1)/114



1年 H・M 『あひるのたまご』 Eさ 読んだ人:M 聞いた人:お父さん

M:みんなでのんだりたべたりしているところがおもしろかったです。あひるさんがひよこをうんだところがおもしろかったです。

お父さん:子どもと一緒に読んで楽しい時間でした。おばあちゃんのオチが最高でした。

1年 T・Y 『いじわるなんてこわくない』 Eあ 読んだ人:Y 聞いた人:お母さん

Y:さいしょはいじめられたけどおともだちがたすけてくれてよかったです。

お母さん:ひとりではこわくて「やめて」といえなかったけど、おともだちにたすけてもらって、ゆうきをもっつよくなれたんだなあと思いました。困っていたり悲しい思いをしているお友達に「だいじょうぶ?」と声をかけられるのは本当にすごい事だと思います。

2年 I・M 『かわいそうなぞう』 Eつ 読んだ人:お母さん 聞いた人:M

M:ぞうさんがかわいそうだったから、たすけてあげたいなあと思いました。ママがなくてよんだからおもしろかったです。

お母さん:戦争でぞうを殺さないといけない悲しいお話でした。このお話はそうだけど、ウクライナ戦は人だよ!と子どもが言っていました。戦争で生きられる命を生きられない悲しい思いをしている人がたくさんいることをはなすことができました。

2年 T・N 『たべてあげる』 Eふ 読んだ人:N 聞いた人:お母さん

N:りょうたくんがきらいなものをぜんぶたべて、りょうたくんが「もうすききらいしないよー」と言ったからがんばれとおもいました。

お母さん:好き嫌いする事なく何度も美味しく食べれることの大切さがわかる本でした。

3年 K・Y 『ほねほねザウルス』 読んだ人:Y 聞いた人:お父さん

Y:たすけあってキングクラーケンをしずめて良いお話だと思いました。

お父さん:ほねほねザウルスは今どきの楽しい本だと思いました。何巻も続きがあってすごく気になる本でした。

3年 M・M 『せかいいいちおいしいスープ』 Eあ 読んだ人:M 聞いた人:お母さん

M:うさぎさん、りすくん、あおむしくんが自分にあったレストランが見つかってよかったなあと思いました。

お母さん:どれもおいしそうなレストランでした。うさぎにとっての世界一と、りすにとっての世界一はちがうというところが興味深かったです。自分にとっての世界一のレストランは何かという話が子どもとできてよかったです。

4年 F・M 『おとうさんのぼり』 EK 読んだ人:M 聞いた人:お父さん

M:おじいちゃんがけがをして入院したさきの病院でぼくは東京タワーにへんしんしたおとうさんのうでのぼり遊んでいましたがのぼれず、ちょうどおじいちゃんのたいいんの時にのぼれたのでとてもうれしそうでした。とてもやさしいおじいちゃんにも気づきました。

お父さん:父や母のからだにのぼっていく。自分の力で登っていくので父の大きさ、母の偉大さに気づくと思います。

4年 N・H 『おもしろい進化のふしぎ ざんねんないきもの事典』 48サ

読んだ人:H 聞いた人:おばあちゃん

H:いろんな動物のざんねんなどが知れてよかったです。たとえば、アホウドリはアホみたいにつかまりやすいとかがざんねんでした。

おばあちゃん:はると君と「おもしろい本ね」と言って読みあいました。昔の恐竜の事や現代の身近にいる豚やザリガニなど、私達が気づかない事を教えてくれるので驚きの連続でした。

5年 H・R 『はじめてのおとうさんはウルトラマン』 Eみ

読んだ人:R 聞いた人:お母さん

R:ウルトラマンのお父さんはしんけんに子どものお世話をする良いお父さん。ぼくのお父さんも右手をつかえないけど仕事をがんばっている。

お父さん:ウルトラマンは正義の味方であると共にお父さんでもあり愛情たっぷり自分の子どもを愛しているのが本来あるべき人間らしさだと思いました。周りの人に感謝の気持ちをもって生活していく事もすごく大切な事だと感じました。

5年 S・I 『さるかにがっせん』 Eや 読んだ人:I 聞いた人:お父さん

I:悪い事をしたら自分に返ってくるんだなと思いました。

お父さん:有名な敵討ちの話ですがさるにも悪事をはたらく理由があったりしたのかなとか、謝った後に、本当に許してもらえたらどうかとか、改めて読むと色々な事が浮かんできました。

6年 K・R 『31センチの約束』 913カ 読んだ人:R 聞いた人:妹とお母さん

R:私は「ヘッドネーション」という言葉を知らなかったのでどきどきしながら本をあけたら二人の女の子が仲良しでした。一人が白血病になり、もうひとりの女の子が髪をあげるという話でした。

この本で二人の強いきずながわかりました。

お母さん:初めて知った「ヘッドネーション」という事に関してお話をすることができました。これからも困っている人にはどんな事ができるのか一つでも多く知ってほしいです。

6年 T・E 『みえるとかみえないとか』 Eよ 読んだ人:E 聞いた人:お母さん

E:身体がどこか不自由でもどこかしらいいところやその人にしか分からないことがあるんだなどこの本を読んで思いました。

お母さん:日常生活の中で自分の中ではあたりまえのことが1人1人違うこと。そして、いろんな人がいていろんな考え方があると改めて考えさせられる本でした。「おなじところをさがしながら、ちがうところをお互いにおもしろがればいいんだね」大人になっても難しい課題です。

